

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-イ	沖縄戦の実相・教訓の次世代継承	施 策	①平和学習の推進及び次世代への継承
			施策の小項目名	○平和学習の充実
主な取組	平和講話の実施		対応する成果指標	平和祈念資料館による平和講話等の実施学校数
施策の方向	・ 沖縄戦の実相と教訓を正しく次世代に伝えていくため、沖縄戦の調査研究を進めるとともに、子どもたちの学びの機会としての平和学習の充実に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施 主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
子どもたちの学びの機会としての平和学習の充実に取り組むため、沖縄県平和祈念資料館による平和講話等を実施する。	県,関係団体	沖縄県平和祈念資料館による平和講話の実施		
		県内学校向け平和講話利用案内説明会の回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	知事公室平和・地域外交推進課 【 098-894-2226 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

平和祈念資料館展示活動事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

県単等

委託

32, 995

26, 975

令和5年度活動内容

沖縄戦の実相を正しく次世代へ伝えるため、県内の小中高特別支援学校へ平和講話を130回実施した。

(単位：千円)

予算事業名

平和祈念資料館展示活動事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

委託

29, 575

令和6年度活動計画

県内学校向け平和講話の実施と、県内学校向け平和祈念資料館利用案内説明会（1回）を実施する。

活動指標名

県内学校向け平和講話利用案内説明会の回数（累計）

R5年度

進捗状況

活動概要

実績値

R3年度

R4年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

1回

1回

0回

1回（2回）

0.0%

未着手

県内小中高特別支援学校向けの平和講話の実施と、平和講話等利用案内説明会を実施する。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

毎年4月初旬に県内学校向け平和講話等利用説明会を実施しているが、令和4年12月～令和5年4月までの建物改修による休館のため、令和5年度は実施を見送った。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○講話の依頼を受けた調整の際に、すでに学習した予備知識の程度や、希望する講話の内容などを聞き取り、より効果的な学習となるよう、画一的な内容とならないよう臨機応変に対応する必要がある。
○取り組み事例を紹介するなどして、各学校で、継続して取り組める平和学習のあり方の検討をする必要がある。

○効果的な学習となるよう、画一的な内容とならないように、既存の学習状況や、地域に関連した情報を盛り込んだ行った。
○継続して取り組める平和学習のあり方として、教員対象の講話において慰霊の日等のイベントのみならず、日頃の教育活動全般を通じて行うように意識改革を促した。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	平和教育のさらなる充実を図るため、児童の発達段階に合わせた講話内容について検討する必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	講話の依頼を受けた調整の際に、すでに学習した予備知識の程度や、希望する講話の内容などを聞き取り、より効果的な学習となるよう、画一的な内容とならないよう臨機応変に対応する。
⑦ その他（改善余地の検証等）	各学校団体において、平和学習に対する取り組みに違いがあるため、各団体のニーズや要望に応じた丁寧なサポートをする必要がある。	② 連携の強化・改善	取り組み事例を紹介するなどして、各学校で、継続して取り組める平和学習のあり方を検討する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	4-(1)-イ	沖縄戦の実相・教訓の次世代継承	施 策	①平和学習の推進及び次世代への継承
			施策の小項目名	○次世代へ語り継ぐ担い手の育成・確保
主な取組	次世代へ語り継ぐ担い手養成講座		対応する成果指標	平和祈念資料館による平和講話等の実施学校数
施策の方向	・ 平和講話、平和に関するワークショップ等を活用し、県内教育機関をはじめ県外からの修学旅行生や外国人への情報発信に取り組むとともに、戦争体験者等から思いを継承し、沖縄戦の記憶や記録を学び次世代へ語り継ぐ担い手の育成・確保を推進します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施 主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
平和学習の推進及び次世代への継承のため、次世代に語り継ぐ担い手の育成を行う。	県,関係団体	次世代に語り継ぐ担い手の育成		
		次世代に語り継ぐ担い手養成講座受講者数		
		講座内容等の検討	講座内容等の検討	30人
担当部課【連絡先】	知事公室平和・地域外交推進課 【 098-894-2226 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

—

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

委託

令和5年度活動内容

県内で活動する複数の平和ガイド団体への詳細なヒアリングを行い、講座の内容や、その効果が後年においても持続可能になるようしくみを検討した。

(単位：千円)

予算事業名

—

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

委託

8,479

令和6年度活動計画

沖縄戦の語り継ぎ手養成事業の受託者を選定し、平和講話（学習）を実践できる人材を育成するための養成講座を実施する。

活動指標名

次世代に語り継ぐ担い手養成講座受講者数

R3年度

R4年度

実績値

—

—

R5年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

順調

活動概要

平和祈念資料館友の会や八重山分館（圏域）の現状を聞き取り、平和祈念資料館運営協議会の委員の意見聴取を踏まえ、養成講座のあり方を検討しR6事業化に向け予算要求をした。

講座内容等の検討

講座内容等の検討

0.0%

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

関連団体のヒアリングを行うことで、養成講座のしくみ、内容を組み立てる上での課題、注意点など大きな気づきが得られた。それを踏まえ、講座内容や期間、回数のほか、離島（八重山）を含めた開催手法（リモート）などの工夫について検討した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○ 今後語り部の減少が進む中で、各団体のヒアリングを踏まえ、有効な担い手講座の実施・計画を進める。
その際、県外の事例なども参考にできるものを検討する（広島や長崎の事例）

・各団体のヒアリングを踏まえ、令和6年度事業実施に向け予算要求をし、事業実施に必要な予算を確保した。
・また、運営協議会各委員等の意見を踏まえ、より効果の高い事業となる様、事業内容の組み立て等に反映した。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 （外部環境の変化）	R 6 年度の「次世代へ語り継ぐ担い手養成講座」開催に向けて引き続き関連団体の活動状況や課題、ニーズ等を把握している状況である。	③ 他地域等事例を参考とした改善	今後語り部の減少が進む中で、各団体のヒアリングを踏まえ、有効な担い手講座の実施・計画を進める。 その際、県外の事例なども参考にできるものを検討する（広島や長崎の事例）

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-イ	沖縄戦の実相・教訓の次世代継承	施 策	②平和に関する社会貢献活動の推進
			施策の小項目名	○平和に関する県民意識の醸成
主な取組	ちゅらうちな一草の根平和貢献賞の開催		対応する成果指標	平和に関する社会貢献活動に取り組む個人や団体の数（累計）
施策の方向	・県内において平和につながる身近な社会貢献活動に取り組む個人・団体を「ちゅらうちな一草の根平和貢献賞」として表彰し、平和に関する県民意識の醸成に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
平和に関する県民意識の醸成のため、ちゅらうちな一草の根平和貢の周知を図るパネル展を開催する。	県	ちゅらうちな一草の根平和貢献賞の周知を図るパネル展の開催		
		パネル展の開催箇所数(累計)		
		9箇所	9箇所(18箇所)	9箇所(27箇所)
担当部課【連絡先】	知事公室平和・地域外交推進課 【 098-894-2226 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.lg.jp/heiwakichi/jinken/1008269/1008405/index.html

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名	ちゅうらうちな一草の根平和貢献賞表彰事業				予算事業名	ちゅうらうちな一草の根平和貢献賞表彰事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度		
					主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	4,189	4,575		県単等	委託	1,785
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画		
第3回ちゅうらうちな一草の根平和貢献賞表彰式に向けて、受賞候補者の募集及び周知広報活動を実施した。					令和7年度開催予定の第4回ちゅうらうちな一草の根平和貢献賞表彰式に向けて、パネル展等の周知活動を実施する。		

活動指標名	パネル展の開催箇所数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		第3回ちゅうらうちな一草の根平和貢献賞表彰式の開催及びパネル展の開催を行った。
	7箇所	10箇所	4箇所（14箇所）	9箇所（18箇所）	44.4%	大幅遅れ	

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
○ 第3回ちゅうらうちな一草の根平和貢献賞表彰式の開催。 ○ 歴代受賞者のパネル展を市町村及び県立図書館の4箇所で開催し、県民へ周知広報を図った。 ○ 令和5年度は表彰式年度に当たることからパネル展開催数を減らし（目標9箇所を4箇所）表彰式においてシンポジウム等を開催した。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○ 沖縄平和賞と2年に1度交互に開催しており、周知広報等について連携・強化をしていく。	○ ちゅうらうちな一草の根平和貢献賞の認知度向上のため、市町村及び県立図書館において歴代受賞者及び活動内容の紹介のパネル展を4箇所で開催した。 ○ 令和5年度は、第3回ちゅうらうちな一草の根平和貢献賞表彰式を開催し、一般部門3者、学校関係部門3者を表彰した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	ちゅうらうちな一草の根平和貢献賞の開催において応募件数が少ないことから各種団体、各小中高校など学校関係者への周知に取り組む。	② 連携の強化・改善	令和6年度は、集客が見込める商業施設や市町村、県立図書館などでパネル展の開催を実施する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	4-(1)-イ	沖縄戦の実相・教訓の次世代継承	施 策	②平和に関する社会貢献活動の推進
			施策の小項目名	○平和に関するワークショップやシンポジウムの開催
主な取組	沖縄平和賞次世代ワークショップの開催		対応する成果指標	平和に関する社会貢献活動に取り組む個人や団体の数（累計）
施策の方向	・ 平和で豊かな社会の実現に向けて、「ちゅらうちな一草の根平和貢献賞」や「沖縄平和賞」受賞団体とのネットワークを活用しつつ、平和に関するワークショップやシンポジウムの開催に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施 主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
平和で豊かな社会の実現に向けて、小・中・高・大学において平和に関するワークショップを実施する。	沖縄平和賞委員会,県	小・中・高・大学における平和ワークショップの実施		
		ワークショップの実施校数(累計)		
		3校	3校(6校)	3校(9校)
担当部課【連絡先】	知事公室平和・地域外交推進課 【 098-894-2226 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/heiwakichi/jinken/1008269/1008311/index.html

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

平和創造・発信事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

県単等

負担

27,195

11,000

令和5年度活動内容

第12回沖縄平和賞受賞候補者の調査並びに沖縄平和賞の情報発信及び広報事業を実施した。

(単位：千円)

予算事業名

平和創造・発信事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

負担

23,797

令和6年度活動計画

沖縄平和賞授賞式の開催及び関連事業を実施する。

活動指標名

ワークショップの実施校数（累計）

R5年度

進捗状況

活動概要

実績値

R3年度

R4年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

2校

6校

6校

3校（6校）

100.0%

順調

次世代を担う学生に沖縄平和賞の存在や意義を伝え、平和を考える機会とするワークショップを開催した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

ワークショップの実施校数の目標値3校に対し、読谷村立古堅南小学校をはじめ他5校でワークショップを実施した。ワークショップに参加した小中高・大学生に沖縄平和賞の意義を伝え、平和について考える貴重な機会となった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○ ワークショップの開催等の取組を継続的に行っていくとともに、沖縄平和賞の歴代受賞者と連携した取組内容とする。

次世代を担う学生に、沖縄平和賞の存在や意義等を伝え、「平和な未来を創るために、具体的にどのように行動をとればよいか」など、SDGsの取組を踏まえた国際的な視点を持ち、沖縄から平和を考える機会とすることができた。
また、第7回沖縄平和賞受賞者の特定非営利活動法人ジャパンハートと連携し、国外での活動報告を踏まえたワークショップを開催した。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	ワークショップの実施について、目標値を達成することができ、次世代を担う学生に沖縄平和賞の存在や意義を伝えることができた。引き続き、ワークショップの開催等を継続的に行っていく必要がある。	⑧ その他	ワークショップの開催等の取組を継続的に行っていくとともに、沖縄平和賞の歴代受賞者と連携した取組内容とする。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-イ	沖縄戦の実相・教訓の次世代継承	施 策	②平和に関する社会貢献活動の推進
			施策の小項目名	○平和に関する人材育成
主な取組	国際平和ネットワーク人材育成研修の実施		対応する成果指標	平和に関する社会貢献活動に取り組む個人や団体の数（累計）
施策の方向	・ 平和推進に関心のある県内の若者が「沖縄平和賞」受賞団体等と連携した取組等を通して、国内外で平和につながる活動を行う人材となるよう育成支援に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
平和推進に関心のある県内の若者が国内外で平和につながる活動を行う人材となるよう国際平和関連の関係団体職員との交流や国際支援現場での実地研修のほか、国際平和ネットワーク人材育成研修事業等を実施する。	沖縄平和賞委員会,県	国際平和ネットワーク人材育成研修事業の実施		
		国際平和に関心を持ち、発信する意欲のある若い人材の育成数(累計)		
		1人	3人(4人)	5人(9人)
担当部課【連絡先】	知事公室平和・地域外交推進課 【 098-894-2226 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/kodomo/heiwadanjo/heiwa/16150.html

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	平和創造・発信事業			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	
県単等	負担	27,195	11,000	
令和5年度活動内容				
第12回沖縄平和賞受賞候補者の調査並びに沖縄平和賞の情報発信及び広報事業を実施した。				

(単位：千円)

予算事業名	平和創造・発信事業		
R6年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	負担	23,797	
令和6年度活動計画			
沖縄平和賞授賞式の開催及び関連事業を実施する。			

活動指標名	国際平和に関心を持ち、発信する意欲のある若い人材の育成数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	-人	0人	10人（10人）	3人（4人）	100.0%	順調	国際平和に関する研修等を実施し、沖縄から国際平和を発信する意欲のある県内の人材育成を行った。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
沖縄平和賞歴代受賞者との共催により、沖縄県内外の大学生を対象とした県内フィールドワークおよびフォーラムを実施した。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
令和4年度は人材育成事業の実施に向けた検討を事務局内及び関係機関の方々と行っていたが、事業内容の調整に時間を要したため、実施に至ることができなかった。	令和5年度においては、事務局及び関係機関との調整を重ね、人材育成を目的とした県内フィールドワーク及びフォーラムを実施することができた。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	共催者との調整に時間を要したため県内の主要平和施設を訪問するフィールドワークに十分な時間が確保できなかった。	② 連携の強化・改善	共催者との事前調整について、早期に着手することにより充実したフィールドワークおよびフォーラムの実施を目指す。